

令和2年度 河川水調査結果一覧

採水地点	採水日時		気温 ℃	水温 ℃	色相	臭気	透視度	流量 m <sup>3</sup> /s	PH	DO mg/l	BOD mg/l	COD mg/l	SS mg/l	MBAS mg/l	NH4-N mg/l	T-N mg/l	PO4-P mg/l	T-P mg/l	Cl mg/l	大腸菌群数 MPN/100ml	
	月日	時刻																			
神田川	向田橋	5月28日	10:50	27.4	20.8	中黄色	微 植物性臭気	32		8.5	10.2	0.9	1.6	24	<0.02	<0.05	3.21	0.013	0.060	11	2200
		9月17日	10:50	24.9	23.0	淡黄色	無	47		7.8	8.4	1.2	2.6	12	<0.02	<0.05	3.55	0.027	0.068	11	7900
		11月4日	10:35	14.2	13.3	淡黄色	無	>100		8.0	10.3	0.6	1.3	6	<0.02	<0.05	6.59	0.014	0.031	15	2400
		2月4日	10:50	8.9	7.3	淡黄色	無	38		7.4	10.5	4.8	5.9	14	<0.02	1.55	5.46	0.124	0.206	15	79000
	南小滝橋	5月28日	10:15	29.1	21.1	中黄色	無	46		8.0	9.5	0.7	0.7	12	<0.02	<0.05	4.08	0.012	0.045	13	2400
		9月17日	10:00	25.1	22.9	淡黄色	無	92		7.7	9.4	0.9	2.2	6	<0.02	<0.05	4.24	0.022	0.047	12	24000
		11月4日	10:05	16.6	14.4	淡黄色	無	>100		8.0	11.1	0.8	1.5	4	<0.02	<0.05	4.27	0.016	0.041	14	2400
		2月4日	10:05	12.5	7.5	淡黄色	無	>100		7.3	11.6	1.1	3.7	8	<0.02	<0.05	3.77	0.012	0.049	13	1100
妙正寺川	三谷橋	5月28日	9:05	27.2	20.3	淡黄色	無	>100		7.5	14.7	0.7	1.0	1	<0.02	<0.05	4.62	0.007	0.021	17	790
		9月17日	9:00	27.8	21.6	淡青緑色	無	>100		7.3	13.6	2.4	2.4	5	<0.02	<0.05	2.93	<0.005	0.034	14	4600
		11月4日	9:05	13.1	25.1	無色透明	無	>100		7.3	11.3	0.8	2.6	11	<0.02	<0.05	6.14	0.017	0.063	16	3300
		2月4日	8:55	9.1	11.4	淡黄色	無	>100		7.2	10.1	0.5	2.2	12	<0.02	<0.05	6.06	0.015	0.047	12	7000
	天神橋	5月28日	9:40	28.8	23.4	淡黄緑色	無	>100		6.9	9.3	0.8	5.5	<1	<0.02	0.14	11.2	0.056	0.100	41	2400
		9月17日	9:25	26.2	26.6	淡黄緑色	無	>100		6.9	5.6	2.2	5.9	1	<0.02	0.54	11.30	0.065	0.120	37	7900
		11月4日	9:30	17.6	20.4	淡黄色	無	>100		6.9	7.0	0.7	5.4	<1	<0.02	0.08	9.9	0.178	0.217	39	1700
		2月4日	9:20	11.4	16.2	淡黄色	無	>100		6.8	7.3	1.1	7.4	1	<0.02	0.09	12.6	0.600	0.639	49	1700

生活環境の保全に関する環境基準

分析項目	分析単位	分析場所	分析時期	分析回数	分析結果	分析精度	分析費用	分析リスク	分析効果	分析改善	分析評価	分析報告	分析公表	分析利用	分析連携	分析共有	分析推進	分析継続	分析発展	分析向上	分析達成
分析項目																					
検出下限値																					

(注) 水域類型: 神田川C類型、妙正寺川B類型

※1 規格12.1に定める方法又はガラス電極を用いる水質自動監視測定装置によりこれと同程度の計測結果の得られる方法

※2 規格32に定める方法又は隔膜電極若しくは光学式センサを用いる水質自動監視測定装置によりこれと同程度の計測結果の得られる方法

※3 最確数による定量法とは、次のものをいう(湖沼、海域もこれに準ずる。)

試料10ml、1ml、0.1ml、0.01ml……のように連続した4段階(試料量が0.1ml以下の場合1mlに希釈して用いる。)を5本ずつBGLB醗酵管に移殖し、35～37℃、48±3時間培養する。ガス発生を認めたものを大腸菌群陽性管とし、各試料量における陽性管数を求め、これから100ml中の最確数を最確数表を用いて算出する。この際、試料はその最大量を移殖したものの全部か又は大多数が大腸菌群陽性となるように、また最少量を移殖したものの全部か又は大多数が大腸菌群陰性となるように適当に希釈して用いる。なお、試料採取後、直ちに試験ができない時は、冷蔵して数時間以内に試験する。

令和2年度 河川水調査結果一覧

採水地点	気温 ℃	水温 ℃	透視度	PH	DO mg/l	BOD mg/l	COD mg/l	SS mg/l	MBAS mg/l	NH4-N mg/l	T-N mg/l	PO4-P mg/l	T-P mg/l	Cl mg/l	大腸菌群数	
神田川	向田橋	18.9	16.1	54	7.9	9.9	1.9	2.9	14	0.02	0.43	4.70	0.045	0.091	13	22875
	南小滝橋	20.8	16.5	85	7.8	10.4	0.9	2.0	8	0.02	0.05	4.09	0.013	0.046	13	7475
妙正寺川	三谷橋	19.3	19.6	100	7.3	12.4	1.1	2.1	7	0.02	0.05	4.94	0.004	0.041	15	3923
	天神橋	21.0	21.7	100	6.9	7.3	1.2	6.1	1	0.02	0.21	11.26	0.225	0.269	42	3425

(注)水域類型: 神田川C類型、妙正寺川B類型

BODに関する年間の日間平均値の75パーセント値※

採水地点	BOD mg/l	
神田川	向田橋	0.5
	南小滝橋	0.6
妙正寺川	三谷橋	1.7
	天神橋	0.9

※年間の日間平均値のうち、低い方から75%に相当する値。BODの年間における環境基準適合の判定には、これを用いる。(環水管第52号《昭和52年7月1日》による)

表1 生活環境の保全に関する環境基準(河川)

項目類型	基準値				
	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
B	6.5以上 8.5以下	3mg/l 以下	25mg/l 以下	5mg/l 以上	5,000MPN/ 100mL以下
C	6.5以上 8.5以下	5mg/l 以下	50mg/l 以下	5mg/l 以上	